

S. I.（社会システム学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

大学入学前から将来は英語を使った仕事をしたいと考えていました。また、日本語を使わずに英語だけの環境で生活してみたいという思いがあり、留学を目指しました。また、協定留学に出願しようとしていましたが、行きたい大学へのスコアが足りなかったということと、違う大学だと期間的にインターンの時期と被ってしまうということがあったのでセメスター語学留学に出願しました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学前には事前授業があり、そこで各自留学前、留学中、留学後の学習計画表を作ります。私の目標は TOEIC で自己目標点をクリアするというものだったので、TOEIC の過去問を解いたり、単語を覚えたり、と勉強にはげみました。荷造りはやはり大変でした。すごく田舎な所だと聞いていたので、あらゆるものを持っていきましたが、ゴールドコーストにはショッピングモールもたくさんあり、ほとんどなんでもあったので、必要はなかったです。

③ 現地到着後

空港に到着すると、語学学校の送迎サービスの方がいて、その方が各ホストファミリーの家まで送ってくれます。日本にいる時点からホストファミリーとは連絡を取っていましたが、なかなか返事が返ってこないことが多かったので心配でしたが、問題もなく、ホストファミリーが迎えてくれました。学校が始まる 2 日前の夜に到着し、学校が始まる前日にはホストファーザーが学校までどうやって通うのか、家から実際に歩いて、電車に乗って教えてくれました。

④ 語学研修機関

◆施設・環境・スタッフ

語学学校は駅から徒歩 5 分ぐらいのところにあり、アクセスがとても良かったです。先生はとても親切でした。また話そうとはしないですが日本語を話せる先生や、日本のことをよく知っている先生が多かったです。図書館は 24 時間開いているので夜遅くに勉強をに行ったりしたりもして利用しました。

◆授業内容、課題、試験

クラスのレベルによって全く異なります。また、先生は 1 つのクラスに 2 人の先生がつき、曜日ごとに変わります。授業内容はオーストラリアのことや世界情勢についての文章を読んだり、先生もたくさん話をしてくれるので、英語の勉強だけでなくいろいろなことを学べてとても面白かったです。テストは 5 週間に一度あります。リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの 4 技能です。20 週間のプログラムだったので 4 回

テストを受けました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

語学学校からのボランティアに参加しました。私が参加したのは動物の養子縁組を探すボランティアでした。自分で個人的に一般のボランティアに応募しようともしてみましたがいやほりなかなか難しかったです。語学学校で行うボランティアは語学学校の方が一緒に来てくれるので、安心して活動することができたのでよかったですと思います。

⑥ 現地での住まいについて

私のホームステイ先は、お父さん、お母さん、長男（14）、次男（12）、長女（11）といった構成の家族でした。食事はお母さんが料理を得意としていたので、どの料理もとてもおいしくて、毎日夕食が楽しみでした。洗濯は3日に一度ぐらいでしてもらっていました。お風呂や帰宅の時間の制限、ルールも全くなかったです。家から学校までは、徒歩10分、電車10分程で着き、通いやすかったです。休みの日には一緒にお出かけしたりもして、とても仲良く過ごしました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

12月の半ばから1月の1週目まで約3週間長期休暇があったので、年末年始にはシドニーに1週間旅行に行きました。ゴールドコーストと比べると国が違うのかな、と思うぐらい都会で、人が多く雰囲気が異なっていたので驚きました。旅の目的であった年越しの花火、圧巻でした。絶対におすすめしたいです。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

学校終了後に1日の疲れを癒しにビーチにいけるのはとても良かったです。少し中心のビーチから離れると人も少ないので静かでリラックスできます。たまにはサーフィンをして、ビーチ生活を大満喫しました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

留学が始まってから1か月間、ホストファミリーとの生活になれるのに時間がかかったことです。とても良心的なホストファミリーで何不自由ない生活をしていましたが、やはり最初はどれだけいい人たちと住むにしても言葉の壁や緊張で、学校が終わり家に帰ってもなかなか疲れをとることができず大変でした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

裸足で歩いている人には驚きました。また、スーパーマーケットでは海パンに裸足で買い物をしている男性や、電車では服を着ずに水着で乗車している女の子がいたり、ゴールドコーストがサーフィンで有名な街だということを実感しました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

現地に到着して一番最初に困ったことは、蚊が多いことでした。ですので、蚊がいなくなるスプレーはとても役立ちました。また、ノートパソコンも必須です。プレゼンを作ったりレポートの課題のことを考えると、便利です。それ以外の必要な日本のものは、街にダイソーがあるのでそこで調達していました。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

約半年間という期間で語学力は伸びるのか、と不安でしたが、間違いなく向上したと思います。特にリスニング、スピーキングは伸びました。また語学面だけでなく、内面も成長したと思います。これは、母に以前よりも自信がつき、たくましくなったと言われて気づきました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

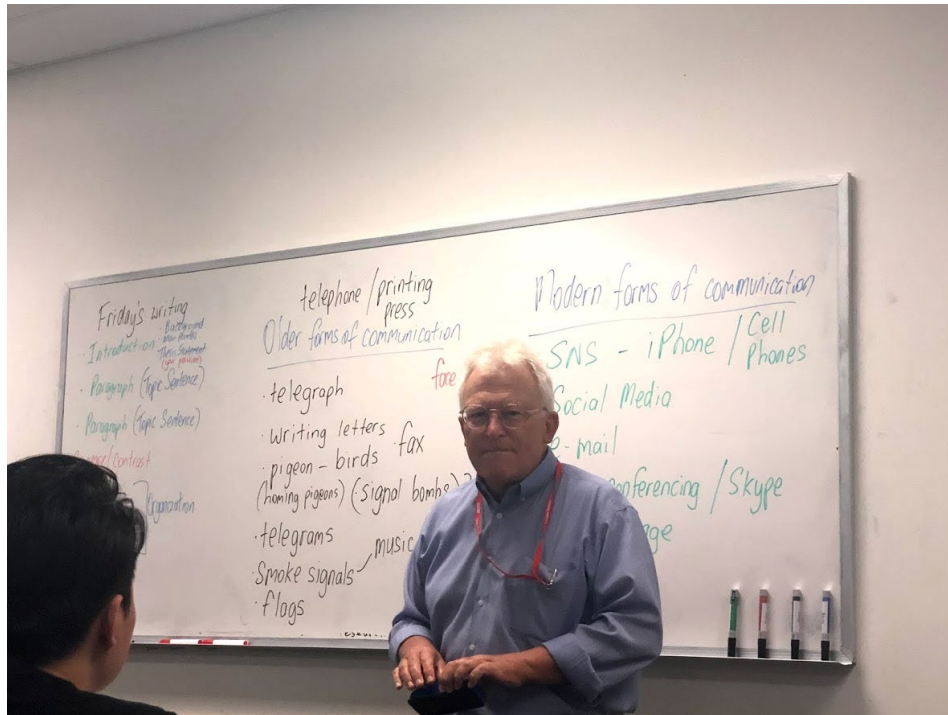
迷っているなら、絶対に挑むべきです。親も知り合いもない環境に行くのは不安だし、他にも人によってたくさんの心配事や躊躇する理由があると思いますが、意外とその環境に入ってしまうとどうにでもなります。いろんな国籍の人と話すのはほんとに楽しいですし、英語を少しでも話せるようになることで可能性が広がっているのを実感すると思います。人生で一番濃い半年間になることは間違いありません。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

将来は英語を使う仕事に就きたいと考えています。人が喜んでいるのをみるのが好きなのでサービス業に興味がありますが、まだ詳しくは決まっていません。

V. 写真



学校の授業の様子です。



ゴールドコーストにあるバーリーヘッズというビーチです。



シドニーにある海に面したプールです。

A. K.（社会システム学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は、昔から海外ドラマや洋楽に興味があり、高校生くらいの時から海外生活に憧れていて、大学に入学したら留学しようと決めていました。同志社女子大学は様々な留学制度があったので、それが受験の決め手にもなったくらいでした。大学入学後も、留学英語基礎講座に通ったりして、留学を経験された先輩方からも影響を受け、留学したい！という気持ちが高まりました。

② 留学決定から出発までの準備期間

オーストラリアに留学するにはビザの申請が必要で、なるべく早めに手続きされることをオススメします。それは、なぜ学生ビザがいるのか説明するために英語の作文を書いたり、必要な書類を準備したりと予想以上に時間がかかるからです。私はエージェントを通さずに個人で申請したのですが、何とかビザを取得できました。

ケータイは、私は SIM フリーのスマートフォンだったので、オーストラリアの安い携帯会社を検索し、事前に自分のホストファミリーの住所へ SIM カードを郵送しておきました。日本で SIM カードの契約をしなかったので少し不安でしたが、無事に届いていて、すぐにケータイを使い始めることができました。留学前から、ホストファミリーとメールで連絡を取り合っていたので、SIM カードが届くことも伝えていました。

出発前は準備などで忙しく、あまり語学学習に専念できませんでしたが、英語のポッドキャストを聞いたり YouTube で日常会話の動画を観たりしてモチベーションをあげていました。

③ 現地到着後

空港に到着後、語学研修機関を通した空港出迎えサービスで、ホームステイ先まで送ってもらいました。ゴールドコースト空港から約 1 時間弱で到着しました。私の場合学校が始まる 2 日前にホームステイ先に到着し、ホームステイファミリーに日用品などの買い出しに連れて行ってもらったり、学校までの行き方を案内してもらったりしました。

語学研修期間の初めの 2 日間はオリエンテーションで、学力診断テストやキャンパスツアーがありました。そこで何人かの友達と出会い、自己紹介をしたりしました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

GELI（Griffith English Language Institute）はグリフィス大学から橋を渡ったところがあり、最寄りの ترامやバス停から 5 分くらい歩いて通っていました。Griffith 大学はとても広く施設も充実していて、快適な学校生活を送ることができました。例えば、プールを備えたジムや綺麗な図書館、カフェなど GELI の学生も利用することができました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業内容はクラスのレベルによって変わりますが、テキストを通してリーディングやライティングを勉強したり、プレゼンテーションをしたりしました。最後のクラスでは大きな提出課題が3つあり、それが成績にも反映されるので、図書館に通って友達と一緒にこなしていました。試験は5週間に1度行われました。リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの四技能のテストで、グレードAを2つとグレードBを2つ獲得すれば、次のレベルのクラスに進むことができました。

GELI にはインディペンデントラーニングというコンピュータールームがあり、そこでグラマーやリスニングなどの自習サービスが提供されていました。また、このサービスは自分のスマートフォンやPCでも利用することができ、通学時間などを活用して勉強していました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

GELI はアクティビティに力を入れていて、友達と一緒にたくさん参加しました。サーフインの体験レッスンや、自然のきれいな公園の散策、学校全体でクリスマスを祝いました。また、ブリスベンで開催されたペットの里親を探すボランティア活動にも参加しました。他にも、ゴールドコーストならではのアクティビティやイベントが沢山あるので参加してみてください！

⑥ 現地での住まいについて

私のホストファミリーは子供が2人の4人家族でした。朝ごはんはシリアルかパンを用意して食べていました。昼食はホストマザーかホストファザーがサンドイッチやスナックを用意してくださったので、それを持って行っていました。夕食は基本、家族全員で食べました。時間は午後6時から7時くらいがディナータイムでした。

通学はバスを使っていたのですが、本数がとても少なく、毎朝学校が始まる40分くらい前に到着していました。通学時間自体は25分程でした。

⑦ 長期休暇の過ごし方

クリスマスは友達の家ホームパーティーに招いてもらいました。オーストラリアならではの暖かいクリスマスをファミリーたちと過ごしたのはとてもいい思い出です。年末年始の長期休みは1週間くらいシドニーに観光に行きました。有名なオペラハウス近辺のカウントダウンのショーは花火がとても華やかで、本当に感動しました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

海外の友達たちと過ごした毎日の日常が、私にとってはかけがえのない思い出です。学校の休み時間にカフェでお喋りしたり、放課後や休日に一緒に課題をしたり、ビーチでのんびりしたり、特別なことをしなくても楽しむことができたのは、友達がいてくれたおかげ

げです。帰国する少し前にみんなで BBQ パーティーをして、そこで友達たちが 1 か月先の私の誕生日をサプライズで祝ってくれて、本当に予想外の驚きと感謝でいっぱいでした。貰ったプレゼントの指輪とネックレスとバースデーカードは一生の宝物です。

最も思い出に残っていることは、バイロンベイでのスカイダイビングです。ずっとスカイダイビングをするのが夢だったのですが、あの一生続く海岸とエメラルドグリーンの海を空から見たときの景色は、今でも目に焼き付いています！！

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

留学中は毎日が幸せで、辛いと思ったことはありませんでした。苦勞したことは、ゴールドコーストのバスです。乗る前にバスが来たなと思ったら、手を振って運転手に知らせないとスルーされてしまいます。また、本数が少なく遅れるのも日常茶飯事でした。一度学校に行く際にバスに乗り遅れてしまい、次のバスが 1 時間後だったので、Uber というタクシーを使って登校した失敗がありました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

ある日ホームステイ先に帰ると、知らないおじさんとおばさんがいてびっくりしたことがあります。後で分かったのですが、その日はホストマザーの両親が来て、家に泊まる日だったそうです。私のホームステイ先では身内の方が来られて泊まるのが何度かあり、家族との繋がりがとても強いなという印象を受けました。

またオーストラリアの人は本当にフレンドリーで、初対面の人でもすぐに喋りかけて打ち解けていたのすごいなと感心しました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

サマリーなどの課題はタイプしか認められなかったのも、ノートパソコンは必要です。図書館でもパソコンが使えますが、休日に家で課題をすることもあったので、持っていくことをおすすめします。ゴールドコーストは思ったよりも寒暖差が激しく、風が強いので長袖、長ズボンの部屋着やパーカーなどで調節できる服を持っていくといいです。基礎化粧品などですが、オーストラリアではオーガニックのものがたくさん売っていて現地でも買えるので心配ありません。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

自信をもってスピーキングできるようになったことです。出発前までは、ボキャブラリーや言い回しの知識が乏しかったことはもちろんですが、小さい文法ミスや発音を気にしてしまい、英語を話すことに戸惑いがありました。留学中なるべくクラスで積極的に発言するようにしたり、友達と休み時間でも頻繁に会話したりするうちに、自然と英語が出てくるようになりました。最初のころは緊張していた飲食店でのオーダーも、帰国するときには自信を持って言えるようになっていました。また今私が働いているバイト先にはたく

さんの観光客が来られるのですが、英語での接客をすることに全く抵抗がなくなったので、セメスター語学留学の成果を改めて感じました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学では予想していないような、素晴らしい経験が待っています。もちろん、海外に飛び出て、生活するのは勇気が要ることだと思います。でも、そこで辞めておこうかなと思うのはもったいないです！慣れた環境を離れて自分自身を見つめ直す機会にもなり、英語以外にもたくさん成長できると思います。セメスター語学留学を通して、海外でしかできないことや、仲間との出会いを皆さんも是非体験してみてください！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私はまだ具体的に将来の夢を決めていませんが、ファッションに興味があるので、海外と日本を繋ぐバイヤーの仕事にとっても興味があります。その他にも英語を活かせるような職に就きたいと思っています。そのためにも、TOEIC で良いスコアを取れるように日々勉強していきます！

V. 写真



プログラムの最終日。クラスの人々と先生でピザをデリバリーしました。



ホワイトサンデー島のホワイトヘブンビーチ。真っ白な砂がとても綺麗でした。

M. M.（社会システム学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私が留学を目指した理由は、海外に興味があり、また TOEIC の点数をあげたかったため、そして異国の世界で過ごす中で異文化を体験し、様々な考えを持つ人に出会い、自分を見つめ直し、視野を広げるいい機会だと思ったからです。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学に出発するまでは、学生ビザの申請、またビザを申請する際に必要な留学理由書を作成しました。ビザの申請と留学理由書は全て英語での作業でした。また、ビザが無いと渡航できないので、早めに取り掛かることが大切です。

学習面では、電車の時間を利用して単語を覚え、洋楽を聴く機会を増やし、字幕をつけて洋画を見ました。また、出発前に TOEIC を一度受験しました。

③ 現地到着後

空港に到着後、グリフィス大学の方がホームステイ先まで車で約 1 時間かけて送ってくださいました。到着して 2 日後、オリエンテーションが 2 日間に渡ってあり、その中でクラスを分けるためのテストが行われました。またテスト以外には、語学学校内見学と、グリフィス大学内の見学や、グリフィス大学と GELI についての説明がありました。また到着後、在留届（電子届出システム）の提出が必要です。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

GELI というグリフィス大学に付属している語学学校はグリフィス大学の端の方に在ります。GELI では、様々な国の人が英語を学習しています。私たちのような母国の大学のプログラムとして語学を学ぶ学生や、グリフィス大学で勉強するためにまず GELI で英語を学習する学生、またワーキングホリデービザで来ている人、その他にも、GELI を利用する目的は様々でした。たくさんの国の人々が集まるので、その分オーストラリアだけでなく他国の習慣や文化を見ることができてとても興味深かったです。GELI 周辺の環境としては、近くにカフェがあり休憩時間や授業後に利用しました。またグリフィス大学はとても広いので、どこに何があるのか全て把握するのはとても大変で、マップを利用することも多々ありました。私は放課後勉強する際よく図書館を利用しました。グリフィス大学の図書館を利用するのですが、1 階は飲食・会話が可能で気軽に勉強することができます。2 階では静かに勉強でき、またたくさんの書籍が並んでいます。正直私たちは語学学校に行くので、自分から行動を起こさないと、ホストファミリーや先生方を除いて現地の人々に関わる機会は協定大学や認定大学に留学するのと比較して、かなり少ないです。図書館では現地の大学生が勉強しているので、生のオーストラリア人の英語が聞けるひとつのチャンス

だと思います。GELI の先生方は、明るくユニークな方が多いイメージです。日本で先生をしていたなど、日本語がわかる先生も多かったように思います。

◆ 授業内容、課題、試験

GELI では授業は午前中だけでした。8:15~10:15、10:45~12:15の2限でした。午後は自主参加で火曜日と木曜日に1時間文法の授業がありました。授業時間が短いので放課後図書館に行き自主学習をすることをお勧めします。授業内容は、発音に特化した授業が無いのが欠点だと私は思います。発音に関しては、普段の授業を通して先生が気になった際指摘してくださいました。授業内容は主にライティングとスピーキングでした。課題と試験はクラスのレベルによって難易度や量が異なります。DEP6の際は、試験が1タームの中で2回ありました。またDEP6からはハードになり課題も増えました。どのレベルでも試験はリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つに分けて行いました。DEP4・5のスピーキングテストではクラスメイトと2人ペアで先生と3人で行いました。DEP6では先生と1対1で行います。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

GELI ではアクティビティ活動があります。私は GELI 入学当初は友達を作るため、ゴールドコーストの環境に慣れるため、ビーチアクティビティやサーフィンのレッスン等に参加しました。1か月くらい経つと、生活にも慣れてきたので、クラスの友達や GELI で出会った友達と自分たちで遊びました。

⑥ 現地での住まいについて

私のホストファミリーは、フィリピン人のホストマザーと16歳の女の子、オーストラリア人のホストファーザーと1歳の犬が1匹でした。ホストファミリーとみんなでルナというワンちゃんに癒されながら生活していたのが印象的です。私のホームステイ先では、6時から7時の間で、みんなで揃って夜ご飯を食べました。主食はお米でした！またフィリピン料理や、オーストラリア料理？のお肉料理等をいただきました。ポーク、チキン、ビーフ、ラム肉等様々で、どれも毎回美味しかったです。通学距離は、家からバス停までまたバス停から GELI まで各5分くらいと近くにあり便利でした。またホームステイ先から GELI までは歩きの時間も含めて30分くらいでした。ゴールドコーストは終バス時刻がとても早く、土日になると5時に終わったりしていたのですが、私の利用するバスは11時くらいまで運営していました。また私のホームステイ先の近くにはハーバータウンというアウトレットもあり、暇なときはひとりで買い物にでかけることもありました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇ではシドニーに旅行しました。目的は年越し花火を見ることだったので、大晦日は朝から友達と、オペラハウスとハーバーブリッジと花火を並んで見れる場所をとり、待機しました。夜9時くらいになって雨が降ってきて、花火があがるか不安になりましたが、無事に雨もやみ、9時と年越し12時と2度の花火をしっかりと堪能することができました。またブルーマウンテンやマーケット、ボンダイビーチなどシドニーの有名観光地を

たくさん訪れました。とても充実してやりたいことが全てできて楽しかったです！シドニー旅行以外では、ゴールドコーストでもクリスマスのイベントが行われていたので、それに参加し、クリスマス当日はホストファミリーとその友達家族とクリスマスパーティーをしました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学を通して楽しかったことは、友達と過ごす日々の生活です。放課後、グリフィスにあるカフェでインド人の友達と日本人の友達と一緒に昼ご飯を食べる時間は、私にとってとても濃い思い出です。インド料理を食べたり、たまにはエッセイの書き方を教えてもらったり、英語のなまりや癖が強かったですが、英語力の高い彼らは私たちの身近な英語の先生でした。そして宗教や食文化も違ったので、休憩時間や放課後、交流してインドについて知れたのが思い出に残っています。また後半になると友達との距離も近くなったので、友達が誘ってくれた火鍋パーティーや、ビーチ側で友達を集めて行った BBQ 等もとても濃く思い出に残っています。みんなで音楽を流して踊ったり、アジアタウンでタピオカを飲んだり、ショッピングモールでお買い物したり、日々の生活も異国で過ごすとても新鮮で楽しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

留学中で辛かったことは、思ったように英語力が伸びなかったことです。留学当初は主にスピーキングで実感していたのですが、後半は英語力の伸びを感じるのが難しかったです。今も留学の経験が無駄にしないよう、また自分の英語力はまだまだなので、ネイティブの先生が行う英語の授業をできる限り時間割に組み、受講しています。課題とアルバイトの両立が難しく容量オーバーなところもありますが、引き続き頑張りたいです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

知らない人同士でもすれ違うと挨拶をし、電車では会話が広がっていて、日本とは違い、明るくのんびりしていて過ごしやすかったです。ゴールドコーストは都会過ぎず、田舎すぎず程よくとても生活するのに適していました。また歩きスマホしている人もあまり見かける機会がなかったです。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必要です。GELI や図書館のパソコンは自由に使えるので、なくてもいけませんが、絶対にあつたほうが便利です。課題も Word を利用し、授業でも教室でパワーポイントをチームでつくる時があるので、絶対持参する方がいいです。他には、私は不安だったので消耗品等はたくさん日本から持って行きましたが、正直持っていかななくても生活できま

す。ゴールドコーストで揃えることができます。ただ質が劣るものもあるので、こだわりがある方は自分のお気に入りのもの、病院でいつももらっている薬等は、日本から持っていくことをお勧めします。ゴールドコーストにあるとかないとかはわかりませんが、冷えピタは風邪を引いた時持って行ってよかったなと思いました。またメディキュットは足が疲れた時に利用しました。目薬、ムヒ等はあまり刺激が強くないので日本製をおすすめします。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学を通して主にスピーキング力とリスニング力の伸びを実感しました。理由としては、実際に日本に帰った後、ネイティブの先生に褒められたこと、TOEIC のテストを受験してリスニングが特に点数が伸びたことからです。また英語力だけでなく、生活力もついたと実感しています。いろんな国に旅行したいと思ったり、他国への興味も深くなりました。留学を通して出会えた友達と国がかわっても連絡をとり、お互いの国に行きあう約束ができていたので、これからも国が違うからということにとらわれず、留学を通して出会えた友達と仲良くしていきたいです。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

セメスター語学留学ではなくても、なにかを通して異国の地で過ごすことを私は全力でお勧めします。たとえ1か月でも、私は一度日本から離れ違う国で生活することは、何か大事なことを学ぶいい機会だと思います。もし時間的に経済的に余裕があるのならば、半年、1年と長いほど友達との関係等も深くつくれるのでより良いと思います。英語力はもちろん、他の国で生活することは刺激的で生活力、コミュニケーション力、新しい何かを身につけるチャンスです。少しでも悩んでいるのならぜひ挑戦すべきです！不安や恐怖もあるかもしれませんが、その気持ちは時間が経つと薄れて、帰りたくない気持ちに変わるので大丈夫です！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私の将来の夢は、世界各国からオーガニックを主とした化粧品や石鹸、食料品等を集め販売する会社に就職したいと思っています。また、たくさん旅行して、他の国の食文化や観光地など、たくさん自分自身で体験し楽しみたいです。

V. 写真



最後の授業のクラスメイトと先生との写真です。このメンバーで5週間全ての授業を一緒に受けました。みんなでディスカッションをしたり、グループでプレゼンテーションをしたり、クラスメイトと過ごした時間は留学での大切な思い出です。



GELI のアクティビティでの写真です。この日は Q1 というゴールドコースト 1 高いタワーに登り、それから 2 時間サーフィンの体験レッスンに参加しました。初めてのサーフィンは難しかったですが、ボードに立てたときはとても嬉しかったです。

A. U.（社会システム学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

もともと中学生の頃から大学生になったら留学したいという気持ちがありました。大学生になるまではただ単に行きたいという漠然としたものでしたが、同志社女子大学に入ってネイティブの先生と話すにつれて海外で英語を学びたいという気持ちが強くなりました。そしてゴールドコーストに行きたいと言っていたこともあり、新たにオーストラリアのプログラムがセメスター語学留学に追加されたと聞き、行くしかないと思って留学に行く決断をしました。

② 留学決定から出発までの準備期間

この期間では一番ビザを取得するのに時間がかかりました。オーストラリアに留学した先輩がいなかったため、聞く人もおらず、友達と一緒に進めてもわからないところが多々出てきたので無料で相談に乗ってくれるコールセンターに電話したりしました。全ての準備が終わって申請した後、取得に 3 週間ほどかかると国際課の方から聞いていましたが、実際は 3 日間ほどで簡単に取得できてしまい戸惑いましたが、不備はなかったようで安心しました。すぐに取得できるとはいえ、早めから用意しておく方が余裕を持って留学を迎えられると思います。

③ 現地到着後

空港には送迎サービスの方が迎えにきてくださって、ホームステイ先まで送っていただきました。到着日からオリエンテーションまで 1 日余裕があったので、その間にケータイ電話会社に連れて行ってもらったりして現地で生活する環境を整えました。そしてオリエンテーションでは 1 日目はテストを受けて、2 日目はキャンパスを見て回りました。テストはライティング、先生とのスピーキング、オンラインでの文法問題でした。キャンパスはとても広いのでこの日では覚えきれなかったですが、新しい友達もたくさんできて楽しかったです。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

キャンパスはとても広く、登録すればジムやプールも使えます。学校自体は自然の中に立っていますが、ゴールドコースト全体にトラムが通っているので放課後にはショッピングモールやスーパーマーケットのある場所にすぐ行くことができます。先生もフレンドリーな人ばかりで個性は強いけど、喋ってみるととても優しいです。日本人の奥さんがおられる方も多く、私が習った先生のほとんどが日本語に馴染みのある人でした。

◆ 授業内容、課題、試験

私は DEP4、5 で学習しましたが、DEP4 では文法が中心でした。最初は文法なんて日本

でもできると思っていましたが、英語で学ぶと日本語で習ったときに少しわかりにくかった文法も自分の中ですんなりと受け入れられたりすることがありました。また、先生によっても変わりますが、私はアクティビティを授業内で行う先生に習っていたのでやりがいはありました。DEP5 では主にライティングとプレゼンをしました。ライティングには割と自信があったのですが、授業内でのライティングはもっとアカデミックだったので、1 から叩き込まれました。最終的にサラサラとアカデミックなライティングが書けるようになりましたし、プレゼンも当然ですが英語で行うので自分のスキルアップにつながったと思います。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

GELI（語学研修機関）には放課後や休日に参加できるアクティビティがあるので、特定の友達ができるまではそれに参加して友達を増やしたり、ゴールドコーストを散策したりしました。カフェでおしゃべりをするというゆるいものから、サーフィン体験まで自分の参加したいものを選ぶのでおすすめです。私は一番ボランティアに参加してよかったなと思います。3 種類くらい参加しましたが、全部やりがいと達成感があっていい経験になりました。

⑥ 現地での住まいについて

最初のホームステイ先は少し合わなかった面があったので、グリフィスのホームステイに相談して家を替えてもらいました。家を変更して良かったなと思った面もありましたが、その逆もありました。食事は日本ほど繊細ではないですが、どちらの家でもワンプレートにサラダとお肉が定番でした。シャワー時間は 5 分、洗濯は週に 1 回でしたが、慣れたら大丈夫になりました。ホームステイの件で一番お伝えしたいことは、もし自分が住んでいてしんどい思いをしたら一度相談しに行くべきということと他人のホームステイ先と比べないということです。私も実際替えるか悩みましたが、学校で相談できる先生に相談した時、あなたの留学なのだから家のことで悩んでたらもったいないと言われたのがきっかけで替えることを決心できました。違うキャンパスには日本人のスタッフさんもいらっちゃって、電話越しに日本語でホームステイ先の変更について説明してくださいました。また、友達の家と比べないというのは、自分が家のことで悩んでいるとどうしても友達の家が羨ましく思えてしまうので、自分もそんな家に住みたかったと比べてしまいます。そうすると余計にしんどいので、自分の家のいいところを見つけてホストファミリーと積極的にコミュニケーションをとったり、自分なりに生活を楽しむことができると、自分のためにもなると思います。

⑦ 長期休暇の過ごし方

クリスマス休暇には友達とシドニーに行ってきました。マーケットを巡ったり、ブルーマウンテンに行ったり、オペラハウスの横でニューイヤーの花火を見たり、フェリーに乗ったりして本当に充実した旅でした。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

新しくできた友達と過ごす時間が一番楽しかったです。幸いにもオーストラリアで出会った友達はいい人ばかりだったので充実した時間を過ごせました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

一番つらかったことは自分自身の変なプライドを捨てきれなかったことです。私はスピーキングに対して苦手意識があり、それを日本人の友達に聞かれるのが恥ずかしいという気持ちを持っていました。自分でもそれを捨てなければ成長できないとわかっていましたが、どうしても心の隅に残っていて聞き手に回ってしまうことが多く、いつも内心自分に対しての怒りでいっぱいでした。はじめの頃は1人では解決しきれなくて毎日泣いていましたが、せっかく留学に来ているのにそんなプライドごときにやられていたらもったいないと思い、そこからとにかく自分の気持ちを言葉にするという単純なことから頑張りました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

文化の違いを感じたことは沢山ありましたが、1番は人の雰囲気だと思いました。日本では公共の場だと過度に人の目を気にしてしまいがちですが、ゴールドコーストではみなどこでも自分のスタイルを貫き通すという感じで自由に過ごしていました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは絶対必要だと思います。もちろん学校にもコンピューター室はありますが、家で課題をする方が多かったのでパソコンがないときつかったと思います。あと USB カードも持って行った方がいいと思います。逆に私は向こうで服をあまり買わないように服を大量に持って行ったのですが、結局帰りにキャリーケースに入らなくて大量に寄付して帰ってきたという経験があるので、服は最低限でいいと思います。ショッピングに行く機会は沢山あるので買わないようにしていても増えてしまいました。洗濯機のせいか服を洗濯するといたんだり伸びたりするので、私の友達は大量にセットで売っている安い下着やTシャツを買って行って帰りに捨てて帰っていましたが、それが一番賢いと思いました。私の経験上どれだけ日本で布量の多い服を着ていてもオーストラリアの夏は暑すぎるのと、足の太さを気にしなくなるので結局布の量が少ない服を着ます。だからTシャツ短パンと少量の長袖長ズボン、羽織るものを持っていけば十分です。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

一番変わったなと思うことは考え方です。留学に行く前はネガティブ思考強めで「でも～」っていうのが口癖でした。今思えばそれは自分が何もできないと思っていたからだと思います。留学に行って何も知らない場所で半年近く過ごすことによって大抵のことはな

んとでもなるし、重く考えてもいいことないなと楽観的に考えられるようになりました。それからある程度のことで緊張しなくなり、自信を持って過ごすことができます。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

もし少しでも留学に行きたいと考えているなら行った方がいいと思います。行かなくて後悔するくらいなら行って後悔の方がよっぽどいいです！というか行って後悔することなんかないです！私自身留学へ行こうと決めた時家族に色々言われたりお金の問題があったりしましたが、全部打ち払って自分のしたいことを優先しました。この選択をしてなかったらあのまま何も成長できていない自分になっていたと思うと、行くって選択したことがどれほど大きなことだったのか常々身に染みて感じます。だから今留学を考えている人がいたら行動に起こしてほしいと思います。絶対自分自身の成長に繋がります。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

正直、将来の仕事に英語を使うかはわかりません。おそらく使わない業界に行くと思います。でも、留学で得た自信はどんな仕事についてもいいように作用すると思います。もし英語を全く使わない職業についたとしても海外に出かけた時などに英語ができなくて困る心配はあまりないので、純粹に不安なしに海外を楽しめそうでうれしいです。

V. 写真



友達とビーチに行った時の写真です。ゴールドコーストはどこからでもビーチへのアクセスがいいので気が向いたらすぐに行けます。



お別れしてしまう最後の週に友達と撮った写真です。先に帰ってしまう友達に寄せ書き入りの国旗をプレゼントしました。

M. M.（食物栄養科学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

高校 1 年生の時にオーストラリアに 10 日間学校の制度で語学留学に行き、とても楽しく、もっと英語を話せるようになって沢山のひとと会話したい、またもっと長く過ごすことで海外の文化にも触れたいと思い、大学では半年から 1 年は留学に行こうと決めていました。大学に入り卒業を延期しなくても済む半年間のセメスター留学を見つけたので行くことに決めました。

② 留学決定から出発までの準備期間

テスト勉強や部活で時間があまりとれず、私は英語の勉強が全然できていませんでした。ビザの申請も始めたのが少し遅くて焦ったのですが、ネットで調べたとおりにしていくと思っていたよりもすぐ申請が通り良かったです。

③ 現地到着後

現地には朝 10 時頃到着しました。空港で大学の送迎サービスの方と会い、ホームステイ先まで送っていただきました。オリエンテーションは学校の施設案内やクラス分けテストなどが 2 日間に分けて行われました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

全体的に小さくアットホームなキャンパスでした。図書館にはパソコンもあり、放課後勉強するのにとても良い環境でした。キャンパスの近くに大きなショッピングセンターやシティーがあるので放課後遊びに行くことができ良かったです。先生はどの方もととても優しく、相談や質問にもいつでもものって下さいました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業内容はクラスが上がるにつれ変わりましたが、全体を通してライティングに力を入れていると感じました。クラスが真ん中の時は英語の文法を主に学びました。ただ、英語で文法を学ぶので新しい発見もあり、楽しかったです。ライティングでは物語や、比較文などなどたくさんの種類の文の書き方について半年間で学びました。全クラスでできるだけ被らないように計画されているので、同じことを学ぶことが無く、新しいことを学べて良かったです。課題は最初のクラスでは宿題として授業で残ったプリント 1 枚程度でしたが、最後の DEP6 のクラスになると、レポート提出がありました。テストは全体的にそこまで難しくありませんでした。5 週間ごとにテストを受けるのですが、その 5 週間で習った文法が出るのではなく英語全般として出ました。DEP6 になると少しテストの形式が変わり難易度も上がり、コンピューターを使ったテストもありました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

アクティビティには何度か参加しました。観光したり、スポーツをしたり、ボランティア活動をしたりと様々なアクティビティがあり充実していました。そこではクラスが違う人や、上のクラスの人とも仲良くなれる機会でもとても良かったです。

⑥ 現地での住まいについて

ホームステイでマザーとファーザーとホームメイトと暮らしました。1 人部屋で、専用のトイレとシャワー室も用意されていました。1 日 3 食でお昼はお弁当をつくって下さっていました。通学距離はバス停まで歩いて 20 分程度で、学校まではバスで 10 分程度でした。

⑦ 長期休暇の過ごし方

私は長期休暇を利用して、パースとシドニーに行きました。オーストラリアは大きく、都市によって景色や文化が異なるのでとても楽しかったです。パースは友人が行けなくなり 1 人旅をしてきたのですが、1 人で空港やホテルに行き、英語で質問したりと語学だけでなく精神面でも大きく成長できたと思います。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

楽しかったことは、日本人の友達だけでなく、色々な国の友達とご飯を食べたり遊んだことです。私は 1 番仲良くなったベトナムの友達とは今も電話をして近況報告をし合ったりしていて、大切な友人の 1 人になりました。他にはたくさん旅行に行ったことも良い思い出です。都市によって雰囲気も違い、日本から行くより安く行けるのでこの機会にたくさん行くことができて良かったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

正直、つらかったり苦勞したことはほぼありませんでした。ただ、到着してすぐはホームシックになり夜に 1 人で泣いたりすることはありました。それでも、1 週間もすれば環境に慣れ楽しむことができました。クラスでは中国人が多く、中国語ばかり飛び交うことがあり嫌だと思うときもありましたが、担任の先生が私に考慮してたくさん色々なことを教えてサポートして下さいだったので嬉しかったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

夜お店が閉るのが早く、大抵は 19 時頃にはお店が閉るのでその点が 1 番驚きました。レストランは開いているのですが多くの店が閉っていることもあり、夜は家で過ごす習慣が根付いているようでした。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

電子辞書とパソコンは持って行ってよかったです。パソコンは図書館にもあるのですが、

プレゼンのパワーポイント作成やレポートなどが家でできるので、持っている人は持って行くと良いと思います。あと、傘は10月は特に激しい雷雨の日が意外と多かったのを忘れずに持っていくと良いと思います。日差しもとても強いので気にされる人は日傘やサングラス、帽子もあると良いと思います。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は主にリスニング力が上がりました。帰国後の TOEIC でもリスニング部分が大きく伸びたので自信も少しつきました。また、プレゼンテーションをする機会が多くあり、人前でものを見ずに話す力も少しですがつきました。他には、旅行やアクティビティなどにより積極的に1人でも行動する力が身につきました。留学後はさらに英語を勉強したいと思うようになりました。なぜなら、海外の友達ができたことや、他の国の留学生が熱心に勉強していて英語も流暢に話していたことに感銘を受けたからです。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

行く前や到着直後はすごく不安になると思います。私も知っている人がおらず、日本から遠く離れたところに行くのはとても不安でした。ですが、ホストファミリーにたくさん質問したり、学校ではオリエンテーションの日からいろんな人に話しかけることで仲良くなれたり、不安な気持ちを共感し合えて心に余裕ができ、留学を楽しむことができました。なので、積極的に行動して、色々な人とかたことの英語でも話すことが大切だと思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

将来は食に関連した仕事に就きたいと思っています。外資系など英語を主に活用したいとは思っていないのですが、英語も少しは活かせることができれば良いなと思っています。語学面では英語の勉強を続け、スピーキングとリスニング力を主に高め、海外の人と自然に会話できるようになるのが目標です。

V. 写真



この写真は DEP6 のクラスの皆でクラスが終わる最後の日に撮りました。後ろの真ん中にいるのが先生です。このクラスは私が 4 つのクラスを経た中で 1 番楽しくて大好きでした。日本人は私しかおらず英語しか話せない状況は勉強するにもとても良い環境で、クラスメイトも同じ国の人がいても授業中は英語しか聞こえなくてとても心地良かったです。先生も学生も陽気な人が多く、いつも楽しく笑いながら授業を受けていました。男性の割合が少し低いですが、男女関係なくクラス皆仲が良くて、分からないことは聞きあたり本当に充実していました。



この写真は昼食を食べているところです。現地で出会い、すぐに仲良くなった日本人の友達ひとりと韓国人の留学生と一緒に食べている様子です。場所は学校のラウンジで大抵ここでお昼ご飯を食べていました。韓国人の友達は3週間だけの留学で短かったのですが、仲良くなり一緒に韓国料理を食べに行ったりとたくさんの思い出ができました。また韓国人の人は発音がとても綺麗な人が多くて、単語力も高い人が多かったので感銘も受け、とても良い影響を受けました。

H. M.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は将来の夢である（観光）通訳案内士の仕事をする為の第一歩として、高校生の頃から、長期期間留学する事を目標にしていました。また留学をして色々な国の人と交流し、語学力をあげるとともに様々な価値観を身に付けたいと思ったから、このプログラムに参加しました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してからは、ビザの手続きが一番時間がかかりました。手続き完了まですべて英語の説明文を理解し英文を書く必要があったからです。語学の勉強については、単語の暗記や洋画を観たり、洋楽を聴きながらネイティブの英語を聞くようにしていました。

③ 現地到着後

現地到着後は、事前に申し込んであった現地大学のスタッフによる送迎サービスを受けました。空港の手荷物引き取り場が集合場所だったので安心してスタッフの方と会うことができました。オリエンテーションでは、大学の先生方が緊急時の病院などの連絡先や授業の様子など丁寧に説明してくれました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

現地の大学に日本人の先生はいませんが、各フロアに先生が沢山いるので困った時はすぐに尋ねることのできる環境でした。図書館は充実した勉強できる環境が整い、多くの他国からの学生ばかりで不安なく学習に励むことができます。

◆ 授業内容、課題、試験

授業では1クラス2人の先生が担当をし、5週間ごとに担任が変わるので、色々な学習方法を得ることが可能です。また週に一度復習テストを行うので確実に学んだ事を頭に定着させることができ、特に私は苦手だったライティングテストで細かく指摘を受けることで、クラス分け試験でそのスキルを十分に発揮することができました。

本大学ではインディペンデントラーニングが充実していて、ケータイやパソコンを使用していつでも気軽に英語を学べるサイトがあります。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

放課後のアクティビティでは、スポーツやカフェチャットを通して遊び感覚で英語を学べる機会が沢山ありました。またそれを通して沢山の外国人留学生の友達が増えました。

⑥ 現地での住まいについて

私のホームステイ先のホストファミリーは大学で働いていたので、定時での送り迎えをしてもらうことができました。またトラムやバスなども多くありますが、週末は本数が少なくなり Uber を使用する事が多かったので曜日には気をつけるべきだと思います。

⑦ 長期休暇の過ごし方

年末年始をはさんでいたため、シドニーへ飛行機を使って国内旅行をしました。シドニーはゴールドコーストとは違った大きな都市で、観光地であるオペラハウスの前では年越し花火が行われていました。これはとてもお勧めの行事です。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

一番思い出に残っていることは、授業を終えると毎日台湾の友達が私たちを迎えに来て夜ご飯までおしゃべりをして過ごしたことです。この時間が一番私にとって留学で幸せな時間でした。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

辛かったことは、自分の人間性の薄っぺらさです。留学へ行くとたくさんの自分の弱さを見つけますが、それと同じくらい尊敬できる人たちばかりに囲まれて辛くなる分頑張ろうと思えました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

習慣の違いで驚いたことは、ホームステイ先で4時ごろに夕ご飯を食べその後はみんな自分の部屋に入って時間を過ごしていたことです。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持っていく、特に役に立ったもの

役立ったものは、化粧品、常備薬、特に目薬です。日本のものと比べてオーストラリアの目薬はあまり爽快感がないものばかりでした。パソコンは課題を進めるのに必須であり、SIM カードも常に知らない地を歩く中で必需品だと思います。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学前後で変わったことは、人に対する価値観です。今までは同じアジア人に対してステレオタイプ的な考えを持っていましたが、現地での外国人留学生との交流を通して相手の良さを感じることができました。また日常的な英会話はやはり確実に語学力を上げるとともに、物事に自主的に取り組む姿勢が前より良くなったと感じます。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学をすると、辛いことが8割のように感じてしまうこともあると思いますが、周りにいるみんなが助けてくれるし、みんなが留学の思い出を最高のものにしてくれると思います。その為には1日1日を全力で仲間たちと根こそぎ楽しんでほしいです！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

将来の夢は（観光）通訳案内士です。今はまだ不安しかありませんが、この半年間の留学で得たものは確実に活かす事が出来ると思うので、全力で前に進んでいきたいと思っています。

V. 写真



この写真は初めて向こうで仲良くなった留学生たちと海へ行った時の写真です。色々なストレスを抱えていましたが、彼らや色々な仲間のおかげで今までの留学で一番100パーセントを出せた半年間でした。

A. M.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

高校在学時に 3 か月間カナダで留学した事があり、もう少し長い期間留学をしたいとずっと思っていたのと英語力を伸ばしたかったからです。

② 留学決定から出発までの準備期間

出発までの期間は書類の準備をしていました。特にオーストラリアの学生ビザを申請するのに時間がかかりました。申請自体はインターネットで質問に答えるだけで出来るのですが、質問が全て英語でいくつか理解し難いものもあり、結構な量なので個人的に時間がかかりました。インターネットで調べたり、友達と教えあったりしながら申請しました。

③ 現地到着後

ゴールドコースト空港へ到着するとグリフィス大学の方が迎えにきて、順番にホームステイ先へ送っていただきました。オリエンテーションではとても緊張していましたが、学校案内で広く大きな大学を見て、これからこんな所で学べるのかと楽しみが増しました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

語学学校の施設は大学の中ということもあり、カフェなどの飲食店やジム、24 時間開いている図書館など十分なものです。立地も海やショッピングモール、チャイナタウンなどにもトラムを使ってすぐに行けるので、便利な場所にあります。スタッフは優しく大らかで陽気な方々が多く、困った顔をしていたらすぐに助けてくれます。

◆ 授業内容、課題、試験

授業内容はクラスによって文法を重視するなど様々ですが、全てのクラスに言えるのはクラスの中で話し合いなどのペア・グループワークが多く、自分の意見を伝える場面がよくありました。先生によって課題の量や頻度は変わりますが、クラスが上がるにつれて意見を英語で書くものやディクテーションの課題が増えました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

—

⑥ 現地での住まいについて

私のホームステイ先はお父さん、お母さん、娘の 3 人家族で何もトラブルなく 5 か月間過ごす事が出来ました。自分専用のシャワールームとトイレもあり、自分のペースで過ごせました。食事では朝ごはんは自分で作り、昼と夜は作ってもらいました。食事はどれも口に合うもので美味しかったです。ホームステイ先から家まではバスを使って 10 分程で丁度良い距離感でした。

⑦ 長期休暇の過ごし方

年末の長期休暇はホストファミリーとクリスマスを過ごし、年末年始はシドニーに友達と行って年越し花火を見たりとても充実した長期休暇になりました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

語学学校で知り合った友達とたくさん遊びに行ったことです。色々な国の友達と遊び、友達のことを知る事ができました。また、日々英語を学んでいく中で、友達との会話で前よりもスラスラと単語が出てくるようになった等の成長を見つけられた時のことも思い出に残っています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

自分の人見知りや意見を言う場面で言えなかった時にとっても悩まされました。他の学生は自分から意見をバンバン言っていて、自分はクラスに取り残されている気がしてつらかったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

些細なことですが、日本に長く住んでいた先生に、会釈をするのは日本人だけだと聞き、実際に先生が他の国の学生に会釈をすると誰も返さなかったことに驚きました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須だと思います。もちろん授業の課題でも使いますし、YouTubeなどを英語で見て勉強することにも使用できます。他にはシャープペンシルは日本の物が良いので持って行きました。化粧品やメイク落としは現地で探しましたがなかなか自分に合ったものを見つけるのに時間がかかるので、出来るだけ持っていく方がいいと思います。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

オーストラリアに来て1か月から1か月半はオーストラリア独特の訛りに慣れず、思っていたよりも聞き取れなくて凹みましたが、時間が経つにつれて徐々に聞き取れるようになりました。また、語学学校ではエッセイのライティングを学ぶ機会が多かったので、ライティングも伸びました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

荷物の面で、荷物は出来るだけ減らす方がいいと思います。シャンプー等の生活用品も全て向こうで買えますし、必要最低限の物に絞ることをお勧めします。留学までに英語に関する単語帳などで単語力を鍛えると授業が少しでも楽になると思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

漠然としか決まっていますが、将来は英語を使用できる外資系の企業に勤めたいと思っています。

V. 写真



ホームステイ先のクリスマスツリーの写真で、家族みんなで飾り付けました。ツリーの下にはプレゼントが沢山置いてあり、クリスマス当日の朝には皆でプレゼントを開けました。その後はクリスマスランチを食べました。本場のクリスマスを過ごせて良かったです。